

ごあいさつ

すがすがしい新緑の季節を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

4月の熊本県と大分県を襲った「平成28年熊本地震」で、甚大な被害が出ました。犠牲になられた方々に、心からご冥福をお祈り申

し上げ、負傷された方や被災された方々にお見舞い申し上げます。本県からは県をはじめ各自治体や民間団体等の支援が行われていますが、一日も早い復興をお祈り申し上げます。口蹄疫発生時には、全国より多くのボランティアが駆けつけていただき、また多くの義援金をいただきました。皆様も熊本・大分両県の復興再生にご支援ご協力をよろしくお願います。延岡でも震度5、そして連続する余震で不安な夜が続きました。東南海地震が心配される中、今後本県の防災対策も更に力を注いで参ります。

今回の議会だよりは、平成27年度2月定例議会と平成28年度臨時議会のご報告をさせていただきます。



東九州自動車道の北浦IC近くの古江港に、4月にオープンした北浦臨海パーク「きたうらら海市場」前で

## 東九州自動車道

### 「北九州～宮崎間」全線開通

東九州自動車道の延岡市以北で唯一の未開通区間でありました福岡県の椎田南～豊前（7.2km）が、4月24日に全線開通しました。これにより宮崎市から北九州市までの320kmが高速道路で繋がりました。1966年（昭和41年）に東九州道建設促進協議会を設立して要望活動をスタートさせ、ここに至るまでに半世紀を要しました。企業や観光客誘致など、地域間競争に負けない力強い宮崎づくりに大きな力となります。また災害時の物流や命をつなぐ道として大きく期待されます。

今後は、早期の4車線化と九州中央道（延岡～熊本間）の建設促進に力を入れなければなりません。

## 高千穂郷・椎葉山地域が

### 世界農業遺産

高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村、椎葉村の5町村で構成する「高千穂郷・椎葉山地域」を、国連食糧農業機関（FAO）が、昨年12月に世界農業遺産に認定しました。美しい棚田や森林、そして神楽をはじめとする伝統文化、それらを維持してきた地域の強い絆が、中山間地域のモデルとして世界に認められました。認定を契機に、本地域の重要性を国内外に広く発信するとともに、伝統的な農林業等の一層の保全と継承を推進し、地域活性化に繋げなければなりません。

# 平成27年度 2月定例議会のご報告

2月19日から3月16日までの27日間開催され、平成28年度一般会計当初予算案など45議案、意見書5本を可決しました。新教育長人事案に同意し、請願3件を採択。また、議員発議の「宮崎県家庭教育支援条例案」を可決しました。

## 平成27年度補正予算

今回の補正は、国の補正予算の成立と公共事業等の国庫補助の決定に伴うもので、その他必要な経費として措置するものです。

一般会計ではマイナス84億8271万4千円の減額補正となり、この結果、平成27年度一般会計の予算規模は、6979億6430万円となりますが、この中には口蹄疫関連の償還金1200億円が計上されており、実質の予算規模は5779億6430万円です。

## 平成28年度一般会計当初予算

5820億7200万円で、前年比0.7%増(40億円)の3年連続の積極型の予算です。「躍動する『みやざき新時代』予算」として編成される。

今回のトピックスは、県企業局の公営企業会計(電気事業)の地方振興積立金を財源に、毎年度10億円を3年で総額30億円を積み立て、「県営電気事業みやざき創生基金」を創設します。この基金より、28年度からの5年間で、地方創生の加速化や、口蹄疫からの復興としての畜産新生の取組、そして平成38年に開催予定の本県での国体開催に向けた施設整備などに活用していきます。

## 可決した意見書

- 奨学金制度の充実を求める意見書
- 医療等に係る消費税問題の抜本的解決を求める意見書
- 知的障がい者が安心して暮らせる入所施設の充実を求める意見書
- 高速自動車国道等の早期整備を求める意見書
- 北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を求める意見書

## 宮崎県家庭教育支援条例(本県で9本目の議員発議条例)

核家族化や貧困等により家庭の教育力が低下している中、行政や関係機関、地域が連携して支援を推進するものです。県が支援体制の整備や総合的な施策の策定を進める責務などを明記しており、地域住民や学校、事業者がそれぞれ子供の自立心の育成や健全な成長のために環境整備に努め、各自治体の進める施策に協力することを求めるものです。4月1日に施行されました。

## 運転免許センターに看護師を配置（1300万円）

県警は4月より、宮崎、延岡、都城の免許センターに看護師4名を「運転適性相談員」として配置する。認知症や意識障害などによる事故を防ぐ目的で、利用者の悩みに対応します。昨年宮崎駅前での暴走事故以来、運転免許の自主返納や適性相談に関する相談が増加しております。



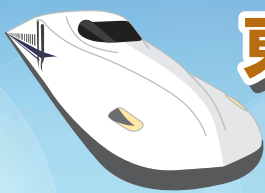
昨年、県内で発生した9,455件の交通事故のうち、60歳以上の事故が3割以上で、50件の死亡事故で52名が亡くなっていますが、うち16件は65歳以上の高齢者が加害者となった事故で、18名が死亡しています。

## 平成28年度 臨時議会のご報告

4月15日、臨時議会が開催され、副議長の選出（宮原義久・小林市4期）、各常任委員会・特別委員会等の委員が選任されました。

特別委員会は、1) みやざき創生対策、2) 海外経済戦略対策、3) スポーツ・観光対策の3つを設置しました。

私は、厚生常任委員会と海外経済対策戦略特別委員会の所属となり、特別委員会の委員長に、併せて都市計画審議会委員に就任しました。



## 東九州新幹線の試算がまとまる

本県と大分県が500万円ずつ負担し、東九州新幹線鉄道建設促進期成会が依頼していた調査結果が公表された。設定ルートは北九州、大分、宮崎、鹿児島市に至るもので、総延長380km。平均時速210kmと想定すると北九州～宮崎間（280km）を1時間19分、在来線と比較すると3時間13分の短縮になります。

整備費用総額は2兆6730億円となり、県内に限った整備費用の推計は、1兆430億円、国の交付税措置がありますが、38億円～57億円を本県が30年かけて負担することになります。国が新幹線の条件とする費用対効果については、50年後に条件の水準に届くと推計しています。経済効果は九州全域で6兆2100億円と試算しています。

ただし、並行在来線の日豊本線は、第3セクター化され、利便性は悪化、料金のアップが予想されます。

今後、県民の皆様にご丁寧にご説明しながら、建設するか否かを検討していかなければなりません。

# 活動フォト



「この花ウオーク」開会式で餅まき  
(五ヶ瀬川河川敷)



宮崎県議会防衛議員連盟役員研修(陸上自衛隊飯塚駐屯地)



「あさひの森」速日の峰で植林



政策イベントの開会式でのあいさつ



**県政  
相談**

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

田口雄二 TEL/FAX : 0982-26-1945 携帯 : 090-5021-7729  
住所 : ☎882-0004 延岡市樫山町3-841-2  
e-mail: gucci-yu@ma.wainet.ne.jp

【田口雄二ホームページ】 <http://www.yuji-taguchi.com>

田口雄二

検索